

# 競技注意事項（諫早市 トランスコスモスタジアム長崎）

## 1 競技規則について

本大会は、2026年（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会申し合わせ事項によって行う。

## 2 競技場使用について

- ウォームアップ場は、原則、補助競技場と雨天練習場とする。
- 本競技場並びに補助競技場等は全天候舗装なので全天候型用のスパイクピンを使用すること。スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。
- 棒高跳の練習は、本競技場で行う。バーをかけない練習のみとし、ゴムバーの使用は可能とする。（ゴムバーは、個人で準備する。）
- 救護本部は本競技場内医務室に設置する。

## 3 競技者の招集について

- 招集所は本競技場第3ゲート入口（200mスタート地点外）に設ける。
- 招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻（最終点呼時刻）
トラック	競技開始 25分前	競技開始 15分前
砲丸投	// 35分前	// 25分前
走幅跳・走高跳・三段跳	// 50分前	// 40分前
棒高跳	// 60分前	// 50分前

### (3) 招集の手順

- 競技者は出場種目の招集開始時刻に招集所で点呼を受けて待機し、アスリートビブス等の点検を受けること。その後、係の指示によりスタート地点またはピットに移動する。また、招集所へは当該種目競技者以外の立ち入りを禁止する。
  - 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、その旨を競技者係に申し出て確認を受けること。
  - 電子・通信機器（ビデオ・音楽機器・トランシーバー・スマートフォン・通信機能付き腕時計もしくは類似の機器等）は競技場内に持ち込むことができない。招集所で持ち込みを確認した場合は、招集所で預かり、競技終了後に本部で各チームの監督を通じて返却する。
  - 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
  - リレーオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、ラウンドごとに第1組目の招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙を招集所競技者係に提出すること。一度提出したオーダーについては、変更ができない。ただし、ケガ等により出場が困難な場合は、直ちに本部へ連絡すること。主催者が任命した医務員の診断を受け、変更を認めることがある。招集時間終了後の変更はいかなる場合でも認められない。（オーダー用紙はプログラムに添付しているものを使用する。決勝進出時は競技者係にてオーダー用紙を受け取ること。
- 競技への上場をやむを得ず棄権する場合は、招集完了時刻までに、本人または学校監督が競技者係に申し出ること。
  - 2種目を同時に出場する競技者は、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、無効試技とみなす。

## 4 競技運営について

- 競技運営上、競技日程およびピットを変更することがある。  
気象条件等の関係でスタート位置を変更する場合は、競技開始30分前までにアナウンスを行う。
- 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
- レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンはあける。
- 計時方法は写真判定（1/1000秒）とする。
- 予選の同成績者（1/1000秒）については、レーンに余裕がある限り、決勝に進むことができる。レーンが不足する場合は、抽選によって決定する。800m以上のトラック競技の同成績者は次のラウンドに進める。

- (6) スタート時、「set」の合図後は局所的な動き（いわゆる「ピクつき」）があってもやり直さず、静止を確認した時点で号砲となる。ただし、他の競技者を妨害し、その結果その競技者が不正スタートを生じさせた場合は警告の対象とする。
- (7) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。
- (8) 警告については、TR7を適用する。イエローカード（以下YC）で2回目の警告が与えられた場合、競技会から除外となる。
- (9) TR4.4（参加の拒否）については適用しない。
- (10) TR6.4.5（競技区域外から録画映像を持ち込むこと）については、競技場の形状を考慮し、録画再生機器の吊り下げや手渡し、競技者が視聴のために競技区域から離脱する行為は認めない。
- (11) リレー競技に出場するチームは、全てのラウンドで1組目の招集完了時刻1時間前までにオーダーを競技者係に提出すること（用紙は原則としてプログラムに添付しているものを使用する）。最終完了時刻前であっても、一度申告した編成の変更は、主催者が任命した医務員の判断がなければ認められない。また、編成（走る順番）の変更は認められない。
- (12) リレー競技においては、そのチームのデザイン・配色が同一のユニフォームを着用すること。
- (13) リレー競技のマーカーの使用は1ヶ所とする。また、マーカーは各チームで準備し、使用したマーカーはそのチームで処理する。
- (14) 短距離種目では事故防止のため、フィニッシュライン到達後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (15) 3000m決勝、1500m決勝、800m予選については、グループスタートとする。
- (16) 3000mにおいては給水を実施する。天候等を考慮し、他のトラック競技においても給水を実施する場合もある。
- (17) 競技場内における、競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示によって行うこと。ただし、選手の競技力に差があるなど考慮しなければならない状況にある場合は、踏切位置を2種類設定することもある。
- (18) 男女走高跳・男女走幅跳は、2ピットで行う。当該審判主任の判断により、途中から1ピットとすることがある。なお、ピットを移動する選手には、練習時間を与える。
- (19) 抗議は、競技結果確定後30分以内に各郡市町の代表監督を通じて口頭で総務員に申し出ること。

## 5 競技場への入退場について

- (1) 競技場内への入場は第3ゲートとする。
- (2) 競技を終えた者は、トラック外側の通路(スタンド下)を通行し、第3ゲート横雨天練習場出入口から退場すること。
- (3) 正面玄関内は立ち入り禁止とする。
- (4) 補助競技場の入場は選手・監督及び役員のみとする。

## 6 競技用シューズについて

- (1) 靴底の厚さはTR5（すべての種目20mm以下）を適用する。ただし、砲丸投においては、適用を除外する。
- (2) 規定外シューズの使用者の扱いについては「失格扱い」とする。競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。  
※各自WAサイト内承認シューズリストで使用が可能か確認すること。不安がある場合は、本部に確認すること。

## 7 アスリートビブスについて

- (1) 男子は白地に黒文字、女子は白地に赤文字とする。
- (2) アスリートビブスはユニフォームの胸背部に確実につける。跳躍種目の競技者は、背部または胸部のみでもよい。
- (3) トラック競技に出場する出場者は、腰ナンバー標識をランニングパンツ右側の上部やや後方につけること。

## 8 フィールド競技について

(1) バーの上げ方は下記のように行う。ただし、天候、その他の事情により変更することがある。

種目	性別	練習	競技
走高跳	男子	1m35	1m40から1m80まで5cmきざみ以降3cmきざみ
	女子	1m15	1m20から1m45まで5cmきざみ以降3cmきざみ
棒高跳	男子	2m30	2m40から3m20まで20cmきざみ以降10cmきざみ

※練習の高さについては、選手の競技力の差によって、高さを2種類設定することもある。

- (2) 走高跳・棒高跳で上記以後の高さは、最後の1人になるまでは、走高跳は3cm、棒高跳は10cmきざみとする。
- (3) 上位2位決定（九州大会出場）のために行うバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmきざみとする。
- (4) 棒高跳の支柱移動申請は、現地で競技役員に口頭で申請する。
- (5) コーチングエリアは、観客スタンドの最前列から2列目までとする。ただし、走幅跳・棒高跳において指示を出す際は、競技運営に支障をきたさないよう助走開始場所付近で行うこと。

## 9 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、全て主催者が準備したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用する。

## 10 表彰について

- (1) 各種目の3位までの入賞者は、決勝結果通告後、正面玄関前に速やかに集合すること。正面玄関前に設置する表彰台で表彰を行う。服装については、ユニフォームは禁止とし、チームジャージ等とする。出場種目の関係で表彰式に出席できない場合は、必ず各チームで代理を出すこと。
- (2) 総合得点表彰については、男女別団体対抗（学校・クラブチーム等）とする。1位6点、2位5点とし、以下1点を減じ6位1点とする。なお、同点の場合は、上位入賞者の数によって決定する。

## 11 商標について

- (1) 競技場内に商標名の付いた衣類やバッグ等を持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規定」を守る。
- (2) 競技者は、招集を受ける前にできるだけテープなどで対応しておく。また、競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

## 12 選手変更について

- (1) 2日分とも1日目に受け付ける。ただし、2日目にも変更できる。  
第1日目 8:20~9:00 (エントランス受付 又は 監督会議場へ)  
第2日目 8:00~8:35 (エントランス受付 又は 監督会議場へ)  
本部総務員（県専門委員）に郡市町監督が所定の用紙で届け出る。（事前に郡市町に配布済み。）
- (2) 選手変更は個人種目で補員との入れ替えのみ可能である。

## 13 その他

- (1) 横断幕・のぼり旗等の設置は次のとおりとする。
  - ①横断幕は第1ゲートから第4ゲートまでのスタンド最前列に設置してよい。ただしホームストレート側には設置してはならない。
  - ②のぼり旗については、メイン競技場2F通路外側フェンスに設置してよい。ただし、テープは使わない。
  - ③個人名を書いた横断幕・のぼり旗の設置は認めない。
- (2) 九州大会・全国大会の出場資格は次のとおりとする。
  - ①各種目2位までは九州大会に出場できる。ただし、男女とも1年4×100mR・2年4×100mRを除く。
  - ②全国大会参加標準記録を突破した選手および共通男子4×100mR・共通女子4×100mRで優勝したチームは

全国大会出場資格を得る。

(3) 各郡市町中体連や各チームの場所取りは以下のとおりとする。

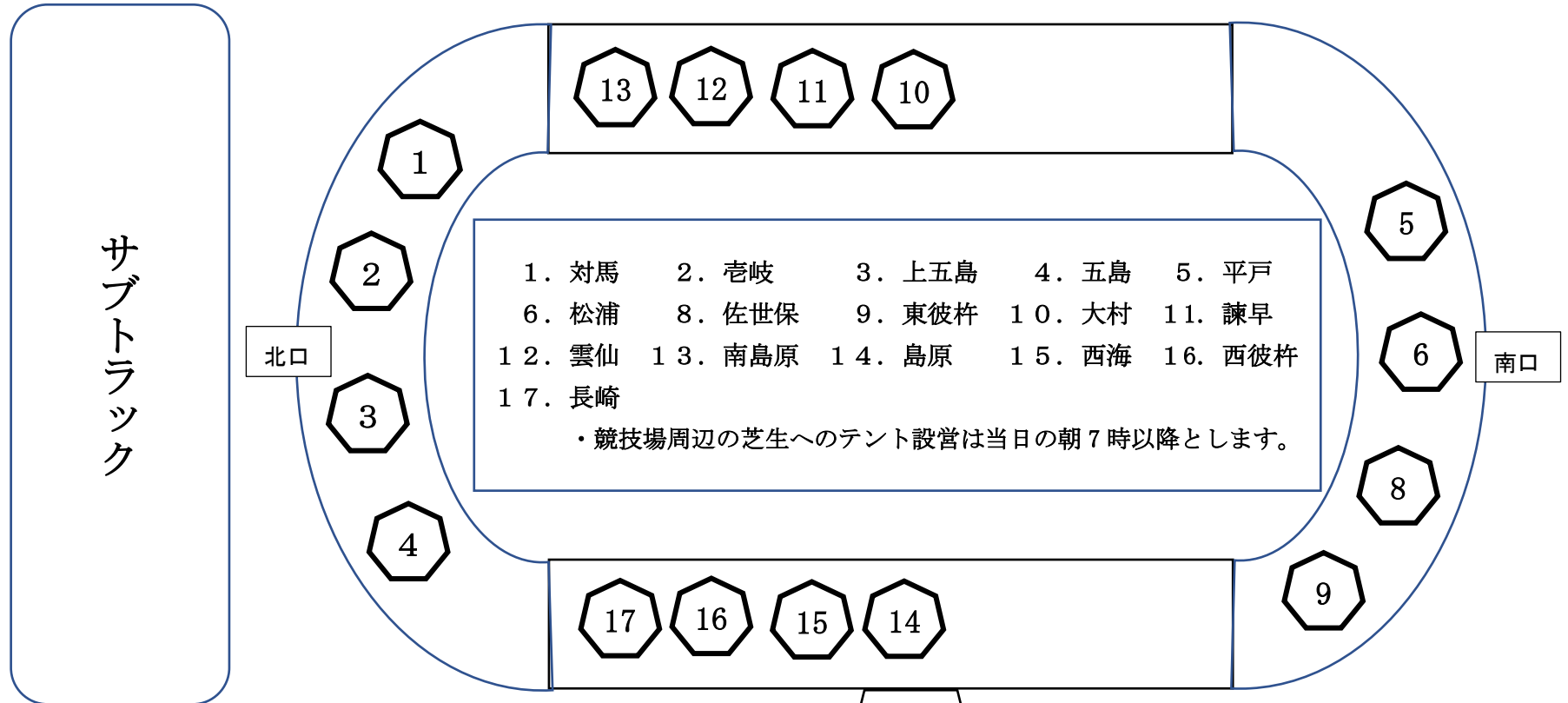
- ①メインスタンド2階は、各郡市町別に割り当てる。7：00までは、スタンドへの入場はできない。なお、スタンド席及びスタンド裏へのテント等の設置は禁止する。
- ②サブトラック外周芝生部分および、サブトラック入り口芝生部分のテント等の設置は認める。  
ただし、設置は当日7：00からとする。（当日7：00以前の場所取りは専門部にて撤去する）なお、メイン競技場1階正面玄関～第4ゲートの通路部分および公園内通路部分、芝生広場での設置は認めない。
- ③メイン競技場内で、粘着テープ類の使用をしてはならない。
- ④第1日目終了後、各チームの荷物は、通行者の妨げにならないように配慮し、まとめて置いて帰ってもよい。





# 令和8年度長崎県中学校総合体育大会陸上大会各郡市待機場所

## 2F コンコース



・競技場周辺の芝生へのテント設営は当日の朝7時以降とします。

- ①指定されていない箇所はフリースペースとします。
- ②3階席は自由観覧席とし、3階席への移動は正面階段付近1カ所とします。

# 補助競技場の使用区分

## 1 使用方法

### (1) ホームストレート（本競技場側）

1レーン	周回練習レーン	周回連続使用可（アップやペースの遅いジョッグは禁止する）
2レーン	周回練習レーン	周回連続使用可（ 同上 ）
3レーン	スタートダッシュレーン	スターティングブロック設置可
4レーン	スタートダッシュレーン	スターティングブロック設置可
5レーン	男子低学年100mHレーン（1日目のみ）	スターティングブロック設置可
6レーン	男子低学年100mHレーン（1日目のみ）	スターティングブロック設置可
7レーン	男子共通110mHレーン（1日目のみ）	スターティングブロック設置可
8レーン	男子共通110mHレーン（1日目のみ）	スターティングブロック設置可

### (2) 第1曲走路～バックストレート

1レーン	周回練習レーン	周回連続使用可（アップやペースの遅いジョッグは禁止する）
2レーン	周回練習レーン	周回連続使用可（ 同上 ）
3レーン	リレー・短距離レーン	コーナーにスターティングブロック設置可
4レーン	リレー・短距離レーン	コーナーにスターティングブロック設置可
5レーン	女子低学年80mHレーン（1日目のみ）	スターティングブロック設置可
6レーン	女子低学年80mHレーン（1日目のみ）	スターティングブロック設置可
7レーン	女子共通100mHレーン（1日目のみ）	スターティングブロック設置可
8レーン	女子共通100mHレーン（1日目のみ）	スターティングブロック設置可

### (3) 第2曲走路

1レーン	周回練習レーン	周回連続使用可（アップやペースの遅いジョッグは禁止する）
2レーン	周回練習レーン	周回連続使用可（ 同上 ）
3レーン	リレー・短距離レーン	
4レーン	リレー・短距離レーン	
5レーン	リレー・短距離レーン	
6レーン	リレー・短距離レーン	
7レーン	スタートダッシュレーン（1日目のみ）	スターティングブロック設置可
8レーン	スタートダッシュレーン（1日目のみ）	スターティングブロック設置可

### (4) フィールド内

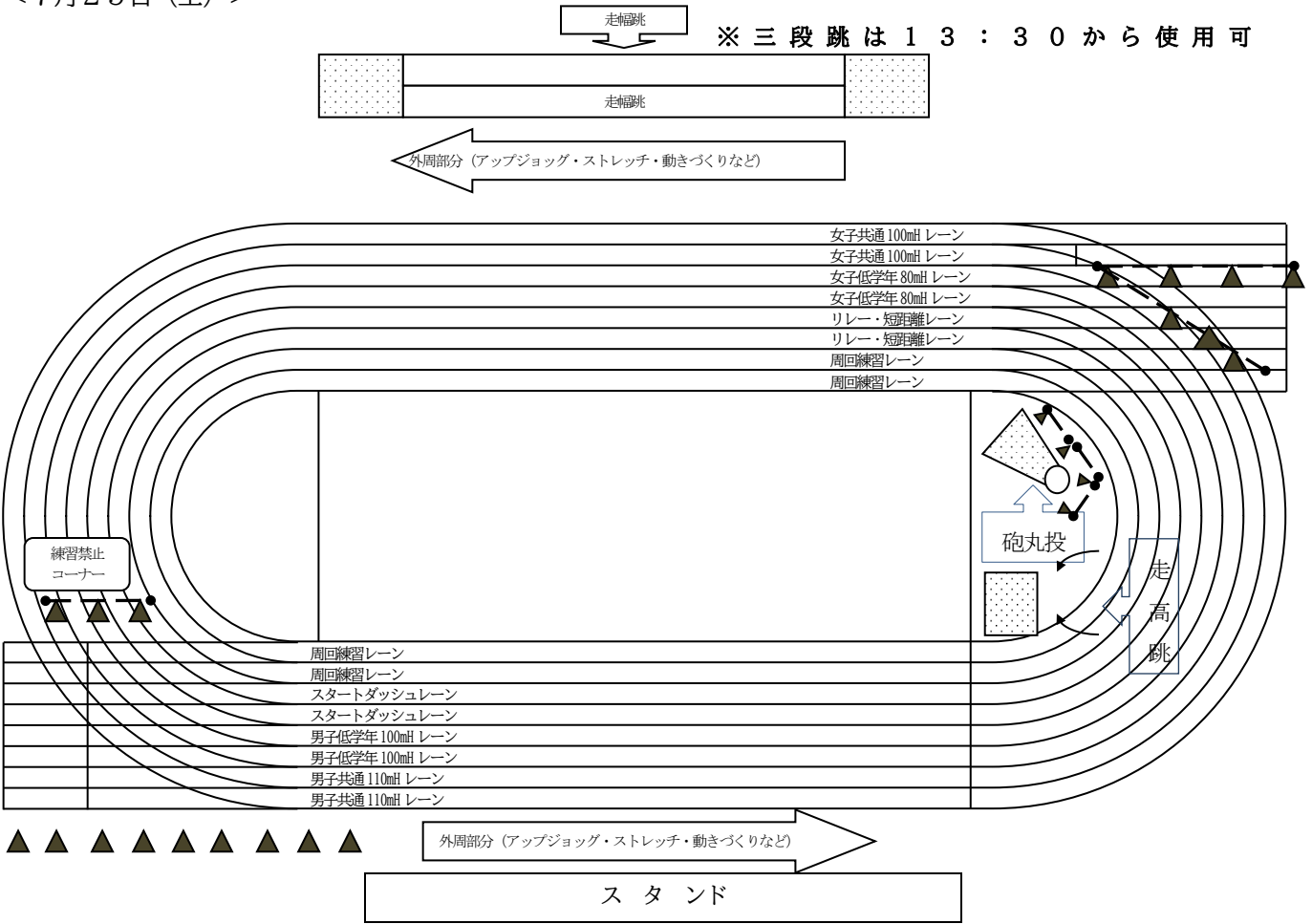
- ①芝生内は立ち入り禁止とし、一切の練習はできない。
- ②走幅跳は、バックストレート外側において設置したピットの使用を認める。（1日目のみ）
- ③三段跳は、バックストレート外側において設置したピットの使用を認める。（両日とも）
- ④走高跳は、第1曲走路内のピットを使用できる。（接触に注意すること）
- ⑤棒高跳は、メイン競技場での練習を認めており、補助競技場での練習はできない。
- ⑥砲丸投は、第1曲走路内のピットを使用できる。

## 2 注意事項

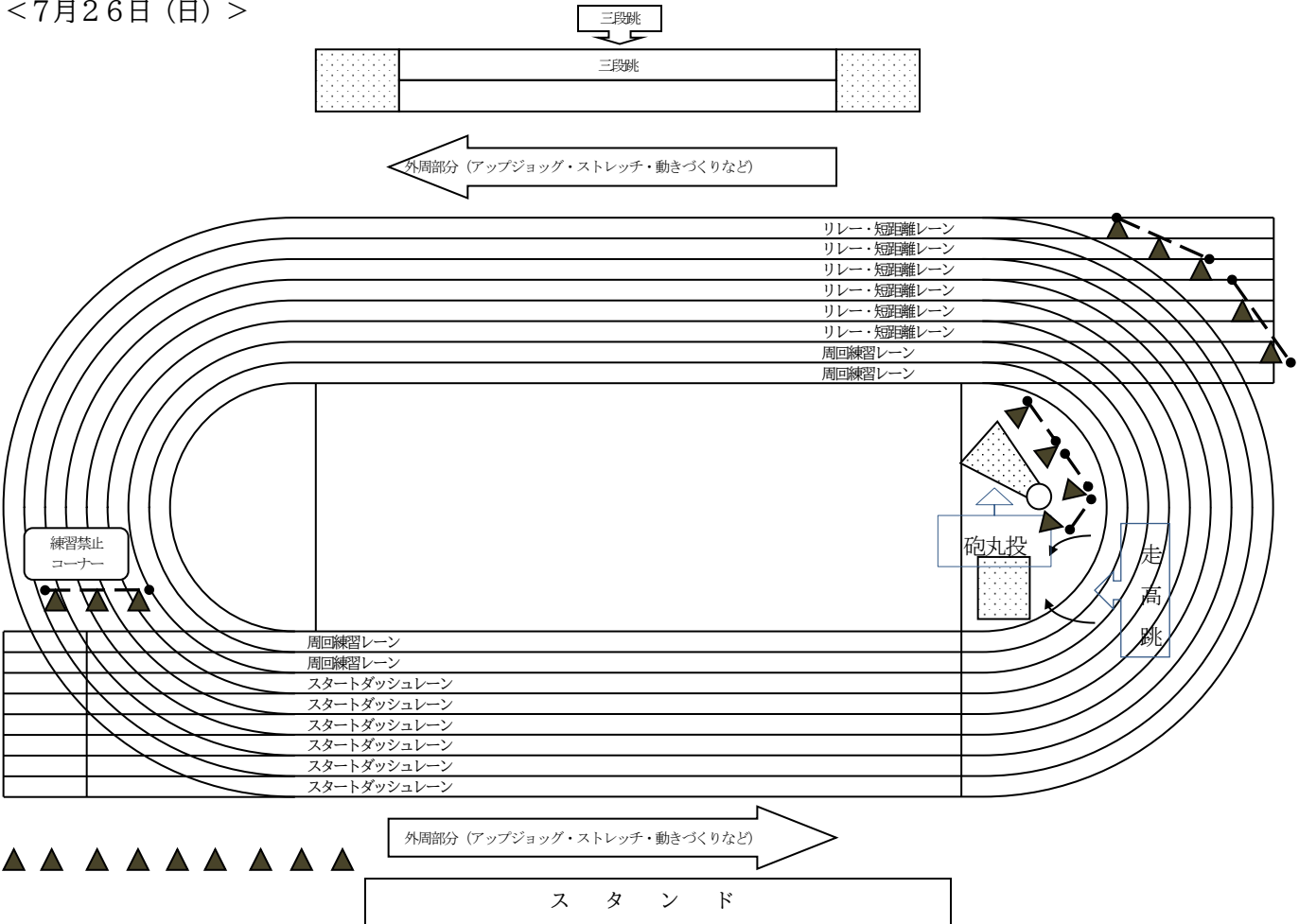
- (1) 選手は安全確保のため、レーンの使用区分をよく守ること。特に、第2曲走路からホームストレートへの走りこみは絶対にしないこと。
- (2) 選手が流しやバトンパス練習をする場合には、大きな声で使用レーンを周囲に知らせてから走り出すこと。
- (3) トラック上へとどまる行為は絶対にしないこと。また、トラックを横断する場合には、安全に十分注意をしてから速足で横断すること。
- (4) 補助競技場550mの外周トラックは、アップやペース走等に使用してよい。ただし、スパイクの使用は禁止する。
- (5) ラダー、ミニハードル等の器具を使用した練習はサブ競技場内では禁止とし、サブ競技場周辺で行う。（芝生広場での練習は禁止）
- (6) 発信器（ピストル）を使用するスタート練習は、補助競技場バックストレートを使用する。

～補助競技場の練習使用区分～

<7月25日(土)>



<7月26日(日)>



# 雨天練習場の使用について

## 1 使用方法

晴天時の熱中症対策と、雨天時のアップ場として雨天練習場を使用してよい。ただし、練習内容はアップジョグ、体操、動きづくり、流し程度までとする。使用に関しては、係員の指示に従うこととする。ラダーやミニハードル等の練習用具を持ち込んでの練習や、マットやシートでの場所の占有、その他練習の妨げとなるものの持ち込みを禁止する。

また、スターティングブロックを使用してのスタート練習を禁止する。

## 2 入退場について

雨天練習場への入退場については、バックスタンド裏側の出入り口を利用すること。競技場内からの出入りは禁止する。

## 3 使用区分について

- (1) 第2ゲート側（1500mスタート側）から、第3ゲート側（200mスタート側）方向への走行とし、絶対に逆走を行わないこと。また、ウォーミングアップ等のジョグについては、4レーン外側を左回り（反時計回り）で通行する。競技場側のレーンの外側については、歩行者専用（スタート地点へ戻る道）とする。